

# 「ハート」スポット探して

## 門司港レトロ・唐戸地区 7か所設置

関門地域の魅力向上とにぎわい創出につなげようと、北九州市と山口県下関市が、門司港レトロ地区と下関側の唐戸地区に計7か所のハート形のスポットを作った。場所はあえてぼかして公表しており、北九州市の担当者は「14日はホワイトデー。恋人同士で探して愛を確かめ合ったり、友人と一緒に友情を深めたりしてみてもいい」と呼びかけている。

(北村真)

にぎわい再生



門司港レトロ地区にタイルと砂利で作ったハート形

## 北九州市と下関市が企画

カレン赤レンガの壁が彫られたハート

門司港レトロ地区にある跳ね橋「ブルーウィングもじ」と下関市の海峡ゆめタワーが、NPO法人・地域活性化支援センター（静岡



市)に「恋人の聖地」として認定されていることなどから、両市が合同で企画。昨年12月、門司港レトロ地区に4か所、唐戸地区に3か所を作った。

うち門司港レトロ地区は、赤レンガの壁や石のベンチ、歩道にそれぞれ幅3〜23センチのハート形を彫り、国際友好記念図書館近くに白のタイルと薄ピンクの砂利で縦1・5メートル、横1・8メートルのマークを作った。関門海峡や地区の雰囲気が変わる写真が撮れるように、担当職員が地区内を歩き回り、約1か月かけて場所を決めたという。唐戸地区は、水族館「海響館」の出口近くなどにある。

両市はソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)での投稿も呼びかけている。北九州市門司港レトロ課の担当者は「両地区は汽船で5分ほどで行き来できる。少し分かりにくいかもしれないが、7か所のハートを見つけて達成感を味わってみてほしい」と話している。